一般社団法人　京都わかくさねっと

２０２３年度事業報告

（２０２３年４月１日から２０２４年３月３１日まで）

１．概要

私たちは、孤立や貧困、DV 等の困難な状況に置かれている少女たちが、生きづらさから脱出し、自分らしく生きるために、居場所と寄添いをキーワードに活動をしてきました。２０２３年度は、3 年目を迎えたわかくさリビング（居場所）と寄添い支援を柱に、当事者、あるいは地域の人たちが主体となって① 安心できる居場所② 多くの経験と人間関係をつくることを目的に、地域で実現できるしくみを模索しました。

コロナ感染症への自粛が開けた今年度、少女たちを取り巻く社会も変わりました。盛り場等を居場所にする少女たちは増加し、ホストやマッチングアプリの被害も社会化されました。歌舞伎町の「トーヨコ」は全国に拡がり、京都市内にもそのような場所が何カ所かでき、話を聞いてもらいたい・仲間が欲しい少女たちが集まり、性被害加害の温床となっています。一方で、児童に関わる法や制度が充実し、少女たちの居場所が市内のあちこちで見られるようになり、とくに虐待を受けた少女たちの支援はずいぶんと進みました。

わかくさに来る少女たちも、貧困や虐待等を理由にやってくる少女に代わり、教育虐待や親との愛着関係、仕事関係でのトラブル、特性や精神的疾患による生きづらさを抱えている少女が増え、目に見えづらい生きづらさの中で、問題解決にはますます複雑化していると感じています。

「わかくさねっと活動展」に際して、少女たちは 12,000 字を越えるメッセージを寄せ、居場所そのものが回復共同体であることを実証しました。一方で、居場所の中での少女たちの関係は自然な成り行きに任せるには脆く、また社会統合という点においてまだまだ不十分だということがわかり、支援者や地域など何層もの見守りや繋がりが必要だと認識しました。１０月から開始した日本更生保護協会の休眠預金事業「ゆるはぶ」では、左京区元田中に新しい拠点をつくり、地域の様々な団体や専門家の協力を得て、居場所や研修、地域参加等をつくることで、少女たちに具体的に社会への扉を開くことを始めました。

今年度は事業当初から資金の目途が立たず、昨年度に比べ決算規模では７割程度の実施内容でした。また組織運営の脆弱性等を指摘されることもありましたが、振り返ってみますと顔の見える仲間や多くの関係者に支えられ、何よりも少女たちから大きな気付きを得た１年でした。また多くの少女たちが、就職や進学、自立など、新たな一歩を踏み出すことができ、それらは大きな喜びになりました。

少女たちの育ちをともに見守り、ご指導、ご支援くださいましたみなさまに心より感謝申し上げます。

2023 年度活動事業

京都市生きづらさを抱える若年者の居場所づくり等支援事業
上京区まちづくり活動支援事業
京都府女性活躍応援事業
京都府地域交響プロジェクト事業
日本更生保護協会休眠預金活用事業
京遊連社会福祉基金助成

2023 年度活動回数

２３６回（わかくさリビング１３２日、カフェ２１日、羊角湾カフェ１９日）
・わかくさに繋がった少女１２８７名（リビング８３２名、カフェ１１９名）
・関わったスタッフ（少女スタッフ含む）わかくさリビング３７０名
・NINIROOM 日帰り部屋利用　　９名
・NINIROOM 宿泊利用　　２３日
・寄り添い支援　対応時間　３０１．５時間

２．事業実施内容

２－１－１　少女主体のシェアリビング「わかくさリビング」事業

地域のなかに安全な居場所をつくり、安心して話をできる環境と食事の提供、および少女たちが主体となって実施するプログラムを提供した。

①「わかくさリビング」運営　京都市上京区相国寺門前町烏丸ビル２階
日時　４月～２月　毎週水・木・金曜日　15：00～20：00　計１３２日
来所少女：８３２人
スタッフ（少女スタッフ主）：３７０人

②参加型体験講座、ワークショップ等【京都市事業】
・京都の伝統文化体験
実施回数：計９回
内容：浴衣と夏まつり、五山送り火、お月見、お正月の準備（お餅つき、餅花、おせち料理）、新年のお祝い、節分、和菓子作り
・ウクレレ教室　回数：１１回、アロマ教室２回、手芸教室６回
・成人式着付　回数：４回、人数：１６名

③地域開放「わかくさリビング地域の日」【上京区事業】
実施回数：計７回
・9／13、10／26　誰でもできるお灸体験講座

・10／11　パトラン仕掛け人に地域活動の心得を聞こう！
・11／22　いけばな街道に展示するスターチス扇を作ろう！
・12／20　支援を越えた活動とは？バザールカフェへの思い
・2／14　大切な人に贈りたい。フラワーアレンジメント体験
・2／25　福祉ネイルで異世代交流！

２－１－２　わかくさカフェ事業

地域の団体や企業と連携し、少女の居場所「わかくさカフェ」を開設した。

①hostelNINIROOM　ホステルと連携。

・隔週月曜日の居場所の実施とおひるねと食事の提供（部屋、食事は毎日対応）
・毎回、専門員（SSW、公認心理師、看護師）がスタッフとして参加することで、進路指導、就職支援等、来所する少女に対して継続した支援を実施することができた。
・実施回数：計２１回
・来所者：　１１９人

２－２　寄り添い支援事業【京都市事業】

①寄添い支援

・寄添い、医院や行政への同行、相談相手
・シェルター利用、問い合わせ等の対応
・ケース会議出席、連携機関とのやりとり等
・関わった時間：３０１．５時間　関わった回数：１２９回、関わった少女２６名

②短期シェルター

○hostelNINIROOM

宿泊の提供　２３日　・一時利用（日帰り）９日

２―３　地域との繋がりと地域参画、普及啓発活動

①羊角湾カフェでの居場所開放「大人こども食堂」

・毎週月曜日 13:00～20:00（12 月から実施、11 月は試行）開催日数１９回
・少女たちのほか、地域の方や親子連れが訪れ、一緒に食事をした。

②羊角湾カフェでの研修・勉強会

対話を中心とした研修、支援のスキルを高める勉強会、テーマに沿ったワーク等を実施。

・11 月 19 日　　自分を生きる（渡辺洋次郎さん）
・11 月 27 日　　つながりのオサホウ（新山隆司さん）
・12 月 4 日　　パステルアート（長岡明子さん）
・12 月 9 日　　若者の居場所を語る（村井琢哉さん）
・12 月 23 日　　老人介護とけ花おせち（浜崎英子さん）

・1 月 13 日　　私がシャバカフェをやっている理由（林明奈さん）
・1 月 20 日　　自傷行為に対する対応（塩谷美紀さん）
・2 月 10 日　　コミュニケーションスキル（新山隆司さん）
・2 月 12 日　　チョコレートをつくる（奥野美里さん）
・2 月 17 日　　LGBTQ とボードゲーム（寺田健さん）
・3 月 1 日　　アレクサンダーテクニック
・3 月 2 日　　みさとキッチン（奥野美里さん）
・3 月 9 日　　女性支援の現場から（伊藤萌々さん）
・3 月 16 日　　生きるって何だろう（奥野七夢さん）
・3 月 18 日　　パステルアート（長岡明子さん）

③地域イベント出展等
・6／11　上京こどもまつり
・8／11　天神公園まつり盆踊り
・10／7　BEYOND2023 出展
・8／22　手作り地蔵盆（cafeHOPE）
・11／4，5　グリーンフェス
・11／23　京都バザールフィエスタ 2023
・12／25　朱雀ライオンズクラブウクレレ演奏
・2／4　初午きつねのお面づくり（cafeHOPE）
・3／6，15 小川カミングプロジェクト
・3／16　花の家カレー手伝い
・3／23　小川自治会館こども食堂

④羊角湾カフェ　地域団体への開放
・左京地区 BBS 会／チクチクカフェ／西浦町自治会ほか

２－４　講義・活動の周知等

①京都わかくさねっと活動展「少女たちが贈る 80 のメッセージ」
場所：ゼスト御池（御池地下街）河原町広場、および寺町通広場
日時：12 月 7～11 日　10 時～20 時
内容：少女たちの現状および活動を広く知ってもらうことを目的に、少女たちが日頃感じていることを展示（パネル A１×13 枚、A3×62 枚、写真 150 枚）

②オープニングトーク（京都市共催）
場所：京都市役所地下１階
日時：12 月 7 日　13 時～14 時
内容：少女のエンパワーメントに必要なもの
講師：安保千秋（ののさん代表・弁護士・わかくさ理事）
話し手：新川達郎（同志社大学名誉教授・わかくさ理事）、少女３名

③パネル出展「対話之文化まつり」

場所：西陣織会館

日時：12 月 13 日 13：00～20：00

内容：少女たちのメッセージを展示すると共に、少女の声の一部を発表した。

④京都わかくさねっと活動展 2「少女たちから大人に伝えたいメッセージ」

場所：日本いのちの花協会　ストーム

日時：3 月 10 日～24 日　10：00～17：00

内容：少女たちのメッセージを再構成し展示。初日は、グラフィックファシリテーションを活用した参加型オープニングセッションを開催。

⑤大学等での授業提供

・京都光華女子大学社会福祉学講義

・京都ユースサービス協会勉強会

・静岡県議会議員研修

⑥メディア掲出

・5 月 11 日～13 日朝日新聞朝刊地域面「つながりよりそう」

・8 月 28 日ラジオミックス京都　「makicomi コーナー出演

⑦発行物

・わかくさだより vol. 4 (2024.3)「ゆるはぶ」活動スタート

・2022 活動報告書 (2022.8)

・チラシ　寄付お願い、イベント周知等

⑧HP、SNS 等の発信

⑨クラウドファンディング

・京都地域創造基金プロジェクト「少女の居場所・わかくさリビングをつくりたい」

2022 年 3 月 22 日～2024 年 3 月 31 日

目標金額　5,000,000 円／

２－５　調査研究、ネットワークづくり

・日本更生保護学会自由発表

・日本ソーシャルイノベーション学会パネル発表

・就労支援や居所支援に対応できるノウハウとネットワーク基盤作り